

## 第2回米沢市環境審議会 会議録

### 1 日時

令和2年7月30日（木） 午前10時～午前11時20分

### 2 場所

米沢市役所 庁議室

### 3 出席者等（敬称略）

#### （1）出席した委員

南後 淳、白壁 洋子、柴田 正孝、澤田 美恵子、尾形 一子、深瀬 順子  
塩越 憲夫、山口 正廣、本間 精

#### （2）欠席した委員

近野 敏子、滝澤 誠、鈴木 雄一

#### （3）事務局職員

森谷幸彦市民環境部長、石黒龍実環境生活課長、佐藤博人課長補佐、  
松浦雄幸環境主査、宮本佳歩理主査、齋藤弘明主事

### 4 会議の概要

#### （1）開会

#### （2）会長挨拶

開催に当たり、柴田正孝米沢市環境審議会会長から挨拶がなされた。

#### （3）報告事項

事務局より資料1～4の説明がされた。

#### （4）協議事項

事務局から資料5～7の説明があり、その後各委員から発言がなされた。

### 会長

範囲が広く、短時間で皆様のご意見を頂戴する時間が足りませんので、できましたら特にここはという1、2点に絞って、指摘し足りない、納得いかない等がありましたら、次回原案提出時に、テーマにしていきたいと思っております。その前の資料にもありましたが、特に資料6・7の進捗状況、目標達成率、後期目標の考え方についてご意見、ご質問がある方から順に発言いただきたいと思います。

## 委員

その前に、今日は資料6、7についてということですが、資料5の地域特性について見直しが必要ではないかと思えます。なぜかという、現状がこういう状況でそのため、次の資料6、7になり、その次の段階でもう1回見直しをしましょうということになると思えます。今日は、資料5についての意見は時間がないという事でよろしいのでしょうか。

## 会長

いえ、実は、私も資料5の1ページ目からそういう疑問がありました。そういったことも意見として出していただけて結構です。例えば、1ページですぐ、疑問に思えます。2ページの(3)気象について、この間の累計降水量でみると、今月の降水量は、この前の24時間で降ったこととなります。そうすると、経時変化はどうなっているのかを表さないと同対比にならないのではないかと私は思えます。そういう疑問・質問でも結構ですので、ただ、資料6、7のご意見もたくさんあると思えます。今日は、それらも含めて結構ですので、ご意見を賜って、次回に反映させていただきますので、よろしくお願ひします。

## 委員

最初に資料5のところで、お話したいと思えます。資料5の11ページのところで、酸性雨の調査結果で出ているわけですが、最後、「示すとおりです」とありますが、米沢市では、この数値に対して、どうしていくのか、それがありません。現在の3期の計画のところをみると、下の方に4行くらいあります。その辺のところを検討していただければと思えます。

続きまして、16ページの自然環境について森林保全のうち保安林の説明がありません。保安林の説明がなく、いきなり市の保安林面積がこうなっていますと書かれてあるだけなので、保安林はこういうものですよという説明をいれていただきながら、米沢市の保安林の説明があると良いと思えます。そして、用語の解説でも保安林の説明が載っていないので、こういったところでも説明があった方が良いと思えます。

隣の17ページ一番上の森林病虫害等の防除となっていますが、松くい虫、ナラ枯れ、カツラマルカイガラムシと出てきているので、「等」はいらないと思えます。最後の文面、「防除を行っています」という表現だと、全部の森林でやっているように見えてしまいます。市の森林整備計画があり、被害の監視と伐倒駆除等の防除を行っているという表現になっているんです。全部の森林の表現ではなくて、特定ナラ林とか、守るべきナラ林とか保全すべき松林という風を書くなど、表現の仕方を変えた方が分かりやすいと思えます。

続きまして、18ページのところにある、カツラマルカイガラムシについては、たいぶ収束して、最近、聞かなくなりました。カツラマルカイガラムシはいるが、被害を及ぼすほどになっていないと思えますので、全国や県内の状況を確認していただきたい。

次の18ページの3番の鳥獣害防除対策についてですが、ニホンザル、イノシシ、ツキノワグマが出ており、被害があるわけですが、今後は、前回もお話ししましたが、ニホンジカについても考えていかなければならないのではと思っています。まだ、山形県では、そんなに被害が出てないようだと言っています。たぶん、米沢市でも同じ状況なのではと思えますが、確認情報は出ており、実際に目撃されています。まだ被害は出ていないけれど、全国

的にニホンジカの被害が確認されているので、今後5年の計画なので対策を準備するなど、検討すべきではないかと思えます。

それから、19 ページの自然公園についてですが、自然公園が何なのか分からないので、ここも解説があった方が良くと思います。樹木、植物の名前が出てきており、その5行目のところにヤエハクサンシャクナゲと出てくるのですが、標準名はネモトシャクナゲとなります。ヤエハクサンシャクナゲは別名になっており、この植物は、稀な植物で吾妻には一部にしかない植物です。吾妻のシャクナゲを入れたいのであれば、よく見ることができる、アズマシャクナゲの方が良いのではないかと思います。

もう一つですが、35 ページの文化財に書いてある草木塔です。ここに書いてある草木塔は、インターネットで検索すると、このとおりに書いてあります。実は、私も草木塔は、田沢コミセンでいろいろ勉強させていただいているところなのですが、ここで言っている草木塔は、こういうことで建てられているっていうことは、まだ、はっきりとした事実ではありません。草木塔がなぜ建てられたか、置賜に数多く建てられたか、なぜ米沢に建てられたか、はっきりとしたところは分からないのです。草木塔に、日付や梵字、誰が建てたか等、色々書いてはあるのですが、裏面に通常何のため建てたか書いてあるはずが、書いていないのです。唯一書いてあるのが、三沢東部小にある草木塔には、建てられた理由だと思うのですが、書いてあり、その草木塔の隣には、今から20年前に3名の方の名前が書いてあり、この3人は地域の山を大切するために、木を切ったりしないように努力して頑張って地域の山を良くしたので、この3人を顕彰しますと書いてあります。その一つだけです。そういうことがあり、森林や自然に対する私たちの思いはあるのかもしれませんが、はっきりとここに書かれているような理由はないのです。正直言ってこれは書かずにぼやかして、一番古い草木塔はいつできて、米沢市内には17基あり、文化財に登録しているなど大きなところで書いていったほうが良いのではないかと思います。こう書くとみなさんそう思ってしまう。江戸時代の草木塔と現代のたくさんある草木塔の思いは違っていて、現代のものはこういう思いで作ったというのが全てあり、江戸時代の草木塔もそうした思いはあると思いますが、どこにも出てこないのも、濁しておいた方がよいのではないかと思います。

## 会長

事務局からはいかがですが。

## 事務局

確認してみます。

## 会長

資料5に関して他にご意見ありますか。

## 委員

資料5の35ページの加賀の表現を越後にすることで補足します。先ほど、事務局から説明はありましたが、上杉家は、元は長尾氏ですので、今は上越市にある春日山城を根

城にしており、直江兼続は六日町でいずれも新潟県越後ですので、その後豊臣秀吉によって会津 120 万石に移され、ご存知のようにその後上杉 30 万石に減俸されたわけです。加賀は全く関係ないと思います。

## 会長

調査をお願いします。その他ございますか。

## 委員

18、19 ページについて、都市整備課のデータと合わないところがあります。表 1-7 公園の整備状況で上郷ふれあい公園と古志田公園が入っていないのではないかと思います。表 1-8 緑地の整備状況では、開設面積が都市整備課のデータと合わないところがあります。もしかしたら理由があって抜いている可能性はありますが、確認をお願いいたします。

## 会長

ひとまず、資料 5 については終わります。資料 6，7 についてはいかがでしょうか。達成率をみるとご意見はあると思います。

## 委員

資料 6 の 3 ページ一番下の小中学生対象の風景画応募が今できていないということでしたが、風景画を描くことは大事なことと思います。自分たちが住んでいる場所の景観にもっと興味をもっていただきたいので復活していただきたい。

## 会長

KPI の目標値として復活させるということだけではなく、手立てもいっしょに考えていかないとだめだと思います。数字をつけたら、ファクトとロジックを固めていかないといけないので、教育委員会にお願いするなど併せて検討いただきたい。学校で写生の時間がなくなったのではないかと思います。

## 事務局

景観図画コンクールについては、都市整備課が窓口となっており、10 年という節目で整理されたということで聞いています。どこかの課でやり方も含めて検討していきたいと思っています。

## 委員

米沢浄水管理センターの消化ガスについて、ボイラーなどで利用されているのですか。

## 事務局

ボイラーで熱利用されており、今年度、ガス発電設備を設置する予定で、発電にも利用す

る予定です。

## 会長

温室効果ガスの数値が減少せず、逆に増加しており、達成率が空欄となっているなど苦悩が伺われます。例えば計画なので具体的な政策を入れて進めることが必要と考えます。中長期計画ですから、市役所、商工会議所、公的な機関などを巻き込んでカーシェアリング計画を5年から10年のスパンでやってみるなどドラスティックなことをしないといつまでたっても削減できないと思いますので、再検討いただきたい。

## 事務局

地域の温室効果ガス削減量については、計画当初1990年度を基準年度にしていましたが、東日本大震災など様々な状況の変化がありまして、今現在は、平成28年度を基準年度として2030年度までに、国では26%削減、本市としては30.5%を削減目標として、本市地球温暖化対策実行計画区域施策編を昨年度に策定したので、見直しの中で、最新のデータに更新します。人口減少や電源構成が変わっていくもので、市単独の事業で大きく割合を変えるのは困難ではありますが、30.5%削減を目指していきたいと思います。

## 会長

15年スパンで人口減も電気自動車も進み社会の流れもそうになっていくだろうということも含めてということですね。そうだろうと思いますが、他の例ではマイバッグが普通になってきましたが、その前に商工会議所が中心となって、マイバック運動をしていました。マイバッグを持ってくるとポイント制となっており、そのポイントを還元できるという事業をNPOを作り、かなり普及させていましたが、今は国の方針として、一律その方向に向かうことになりました。その地域の自主発生的な動きは尊いものです。国や県の制度により問題が解決するのではなく、米沢地域として能動的、精神的な取り組みにチャレンジしていくべきではないかと思います。自然減に加えて積極的な打ち出せる方法を検討していける時間があると思うので、個人的な意見ですがいろんな方の知恵を頂きながら進めなくてはなりません。個別の指標にそのヒントも隠されていると思うのでそれを集めるとちゃんとしたロジックとなるはずなので、市民バスの利用率もまさにそれにつながっているわけです。電気自動車も市役所中心に普及すると思いますので、そういったものも検討に入れていただきたいと思います。他に皆さんからございますか。

## 委員

基本的なことで申し訳ありません。もしかしたら聞き逃したかもしれませんが、バスのお話もありましたが、資料6の1ページ目の6番の循環バスの平均乗車率の数字が平成28年からの数字が書いてあり、達成率がゼロとありますが目標値が15.2の分母に対して推移している数値あるいは現状値で達成率を計算しているのですか。

## 事務局

資料6の達成率の数値の考え方ですが、現状値から目標値まで移行すれば100%、それを超過すれば100%を超えます。実際ポイント数でみていますので、ここでいう循環バスの一日当たり13.6人を15.2人に増やしたい、15.2人になれば100%達成したと計算していますが、そもそもの現状値を逆に下回って、達成に至っていないので、ここはゼロということです。

## 委員

評価項目によっては、考え方としてゼロか100かで中途半端な数字は出てこないということですか。

## 事務局

前回の設定がそのように設定してありますが、ゼロか100か、やったかやらないかということだけだと、どこまで進捗しているのか評価しづらいので、今後この指標につきましてはどこまで進んだか、はかれるような指標を取ることが必要と考えています。

## 委員

ゼロと出ているものは基本的にそのような考え方ですか。

## 事務局

見直しが必要だと考えています。

## 会長

分母とおっしゃいましたが、図り方を検討し直したほうがいいかもしれませんね。これから循環バスの利用促進について色々な政策的努力をした際に、その目標値にたとえ届かなくても、政策効果が多少あったと計る意味でもゼロか100かということではないようにしたほうがいいかもしれませんね。貴重な意見ありがとうございます。他にご意見はないですか。

## 委員

基本的なことで申し訳ありませんが、温暖化ガス削減の目標値、国が26%で、米沢市は約30%となっています。最初から出席しているから覚えていますが、大きな限られる要因は、米沢市の人口が減ることは大したことではなく、一番大きいのは、電源のベストミックスであり、日本では、25%原発を動かさなければ到達できない数値です。25%、25%、25%、25%で100%になりますが、25%を原発で、25%は再生可能エネルギーで、25%がその他のガスや石炭なんですけど、それが今大きく狂っているのが最近のニュースで出ています。あまり政府は発表していませんが、もうすでに到達することができません。原発は動かさないし、石炭も稼働せざるを得ません。住宅用の屋根はまだ問題ありませんが、メガソーラー発電については、日本はもう設置する場所がありません。今は線路に太陽光発電施設を設置し

ているような状況です。秋田で洋上風力発電が出てきて、それでも原発一基分作るのはもう大変な状況です。こういうことを言ったら大変申し訳ないが、目標値、これはもう電源ベストミックスがほとんどで確かあの時 20%近くだったと思います。これは自動的に計算で出てきますので、電源ベストミックスが改善されない限り削減率は上がるはずないんです。二酸化炭素の発生率、東北電力が増えてますから、米沢市の計画で下方修正は難しいかもしれませんが、実際にはもう無理だと思います。もう政府も諦めているような状況です。25%の割合で原発が稼働するのは、今5%あるかないかですから、難しいと考えます。太陽光も無理があり、環境アセスメントは太陽光を止めようという流れが出ていますから、日本は土地がないので山を崩して平にして、生物をお釈迦にしちゃうのはどうなのかなという意見が出ています。ですから、現実を見つめて下方修正しないと米沢市民はその裏側まではわからないので、目標を立てたけど、何もしていないじゃないかとマイナスのイメージを植え付けられてしまうのではないのでしょうか。基本的な話ですがそのように思ったのでご参考にしてください。

## 事務局

貴重なご意見ありがとうございます。確かに地球温暖化対策実行計画は自治体ごとに定めていますが、国が示しているマニュアルに沿って作っておりますので、どうしても目標とすべきは国の示す 26%をクリアするように作りますので、国の要素を取り込んでしまつて26%を超過する形です。いまご指摘、ご提案があつたように様々な計画の整合性をとることも重要ですが、国がらみで米沢市独自でどうにかなるわけではなく、国の電源政策で決まっているものと、なかなか自分たちでコントロールできるものではないので、逆にコントロールできるもので変更するという考えです。

## 委員

国の 26%を崩すというのはよくありませんよね。あそこまで頑張った数字を出してもらいましたが、後ろ向きの意見で申し訳ないけど、そうすれば達成率は上がるんじゃないでしょうか。

## 事務局

参考にさせていただきます。

## 会長

片方で森林の涵養化や生物多様性を盛り込んでいて、今の委員がおっしゃった米沢独自となるとどうしても風力や太陽光発電で自然景観を壊してしまいます。原発1基 100万kWを風力や太陽光で発電しようとする、風景が一変してしまいます。また、発電できるかもわかりません。この環境審議会としては二律背反のようなところがあります。今の意見は大事だと思いますが、他の方ご意見ありませんか。

## 委員

自然が好きで登山をしています。3年前に東吾妻の家形山に登ろうとしたところ、登山道が全くなって途中で道に迷って引き返してしまっていたことがありました。整備をしていると、人が自然に入るといいなと思いますが、人が入らないと自然はすぐに元に戻ってしまいます。日曜日のテレビで日本の里山ということで飯豊町の中津川地区が放映されていました。草木塔が見守っていて、地域の人たちが田んぼの周囲をしっかりと草刈りをして、そこに動物たちが育ち、スゲを栽培して、花笠のカサを作っていました。中津川は地域の人達が地域を守っています。自然の中で草刈り等が重要であると感じました。

## 委員

私たちは食とエネルギーと福祉について活動しています。先ほど委員からの発言がありましたが、私たちは原発で、あの思いはしたくないので、原発は反対です。太陽光発電を推進しており、私たちにできるのはそれしかありません。でも、米沢の屋根の上ではどうかなと二の足を踏んでいる状態で、具体的にこうなんだということで前進して、自分たちでエネルギーを発電しないとだめだと考えました。飯豊町では太陽光発電にサルの被害等がある荒れている農産地を使っています。環境を損なわないようにやらないといけないなど改めて思いました。食のところでは商工会議所も進んで行っていますが、3010運動は浸透していません。その点、山形市では、コロナウイルス対策のための30秒の手洗いを含めて3010運動について、啓発用コースターを作っています。捨てるために食品は作られてないので、コースターなど目の前にあるものに特化して啓発すれば、変わっていくのではないかと思います。

## 会長

3010運動は心しており、コロナ禍で小規模な会合をしていましたが、注ぎにまわれないので結果6080運動になっています。毘沙門プロジェクトは全国に先駆けて新型コロナウイルス対策を行っています。行政施策だけではうまくいかない3010運動をこの機に根付かせるよう各団体が広げていくことが重要であり、市民享受の感染予防対策を盛り込むべきです。

## 委員

資料7の1ページ④公共施設の新設について、酒田市が新庁舎を建設したときに、コンクリートの基礎を造るときにパイルを打ち込み、パイルにヒートパイプを付けて冷暖房の熱源にしていました。山形市内のコミセンでは、人が上がると自動的にドアが開くという装置を付けており、子ども達が興味を持っています。設計案を業者から出してもらい、そのまま造ってしまうことが多いので、一部に環境を考える仕組みを取り入れることができないか提案します。

## 事務局

市役所の新庁舎は、来年4月完成予定で建設が進んでおり、様々な設備の選定も済んで



いますので、資料7に記載している太陽光発電パネルの設置と雨水利用はすることになります。ヒートパイプなどを新たに設置することは難しいですが、公共施設にチャレンジできないか確認します。

#### **会長**

雨水は中水で使うのですか。

#### **事務局**

トイレで中水利用します。

#### **会長**

設置が間に合うもの、後付けで可能なものがあれば協力して設置できればいいと思います。市役所は市の象徴たる施設なので、先導的な意味が大きいと考えます。

#### **会長**

他にご意見がないようなので、今回のご意見を反映した後期目標の原案を次回出していただき、関心が高い分野について、全委員からご意見をいただきたいので、お時間があれば資料を読み返して臨んでいただきたいと思います。協議については終了とします。円滑な進行にご協力いただき感謝いたします。

### **5 その他**

事務局から次回審議会の日程確認が行われた。

### **6 閉会**